

## 令和3年度 糸満市立認定こども園自己評価報告書

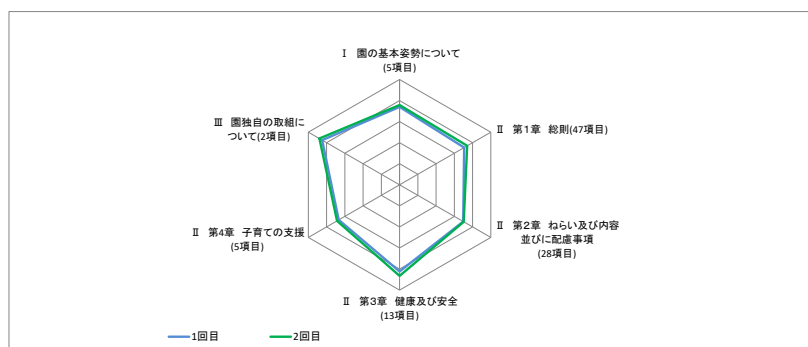
### <評価方法>

十分理解できている（十分できている）…◎3点    理解している（できている）…○2点    ふつう…▲1点    努力が必要…×0点

### 集計結果

評価	糸満市立西崎こども園				園長 山田 文子			
	1回目				2回目			
	◎	○	▲	×	◎	○	▲	×
I 園の基本姿勢について(5項目)	14	39	2	0	16	38	1	0
II 第1章 総則(47項目)	142	300	72	3	175	286	52	3
第2章 ねらい及び内容並びに配慮事項(28項目)	89	158	61	0	87	171	46	0
第3章 健康及び安全 (13項目)	73	65	4	1	89	51	2	1
第4章 子育ての支援 (5項目)	13	29	13	0	12	34	9	0
III 園独自の取組について(2項目)	12	10	0	0	14	8	0	0

### レーダー



### 所見

#### 【成果】

- 概ね各項目とも教育・保育要領を理解しながら保育を展開している。園内研を行いながら、園の環境を全職員で見直すことで主体的な活動に繋げていくことができた。
- 外部研修等、オンラインを活用し様々な研修に参加することができ学ぶ場が確保できた。
- 保・幼・こ・小の連携では、交流会は難しかったが糸満市の教育委員会の担当者方が各地区の連絡会の計画を立ててくれたことによりしっかりと連携がとれ、「接続期カリキュラム」の作成や話し合いをすることができた。

#### 【課題】

- 新型コロナウイルス感染予防をし、行事の持ち方の工夫しながら行なってきたが、コロナ禍2年目で保護者が思っている行事の計画が難しかった

#### 【保護者より】

- コロナ禍で登園自粛でお友達との関わりや行事が少なくなり残念・・・でも運動遊びや生活発表会など入れ替え制をとって感染対策をして子どもの様子がみれたのでよかった。
- コドモンアプリを利用したの行事や子ども達の写真を載せてほしい

#### 【改善点】

- 発達段階に応じ一人一人の育ちを確認しながら、見通しを持った指導計画を作成する。
- リモート研修が園の方でもできるように体制を早めに整える。
- コロナ禍での行事の検討、工夫を行う。
- 子どもを共に育て、園の教育保育に関心を持ってもらえるよう情報発信の工夫をする。